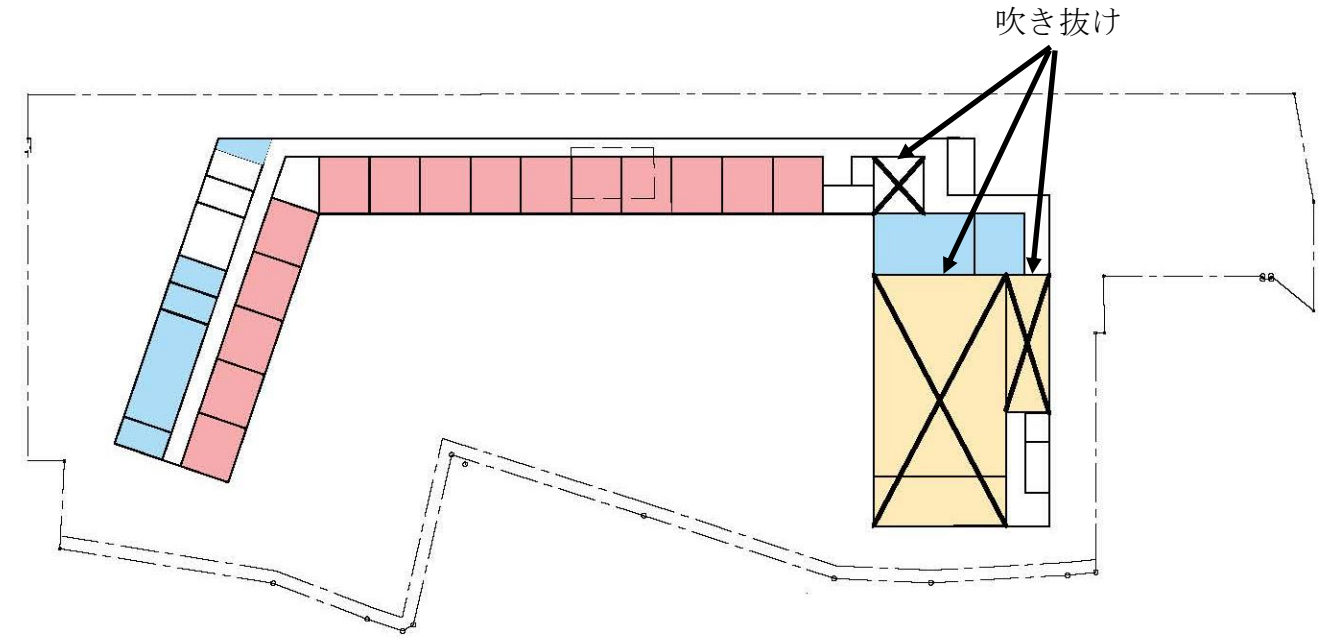
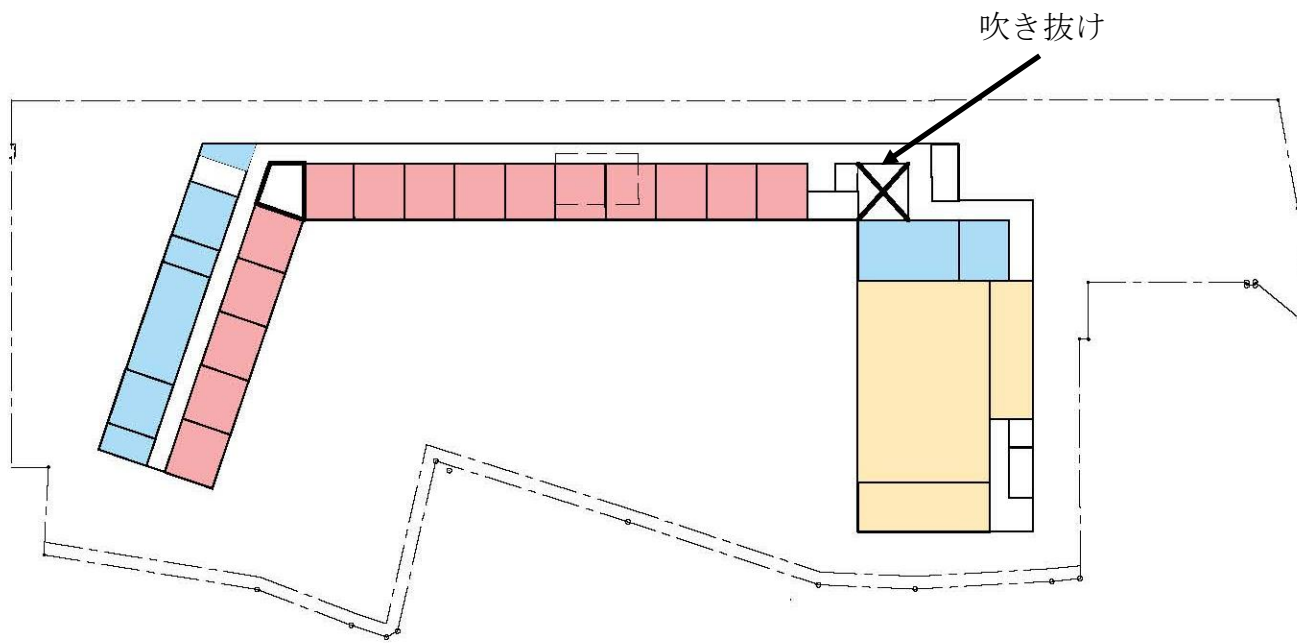


配置図兼1階平面図

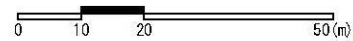
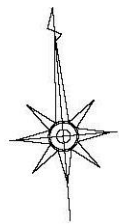


3階平面図



2階平面図

延床面積 合計：約 9,860 m²
校庭面積 : 約 4,000 m²



凡例

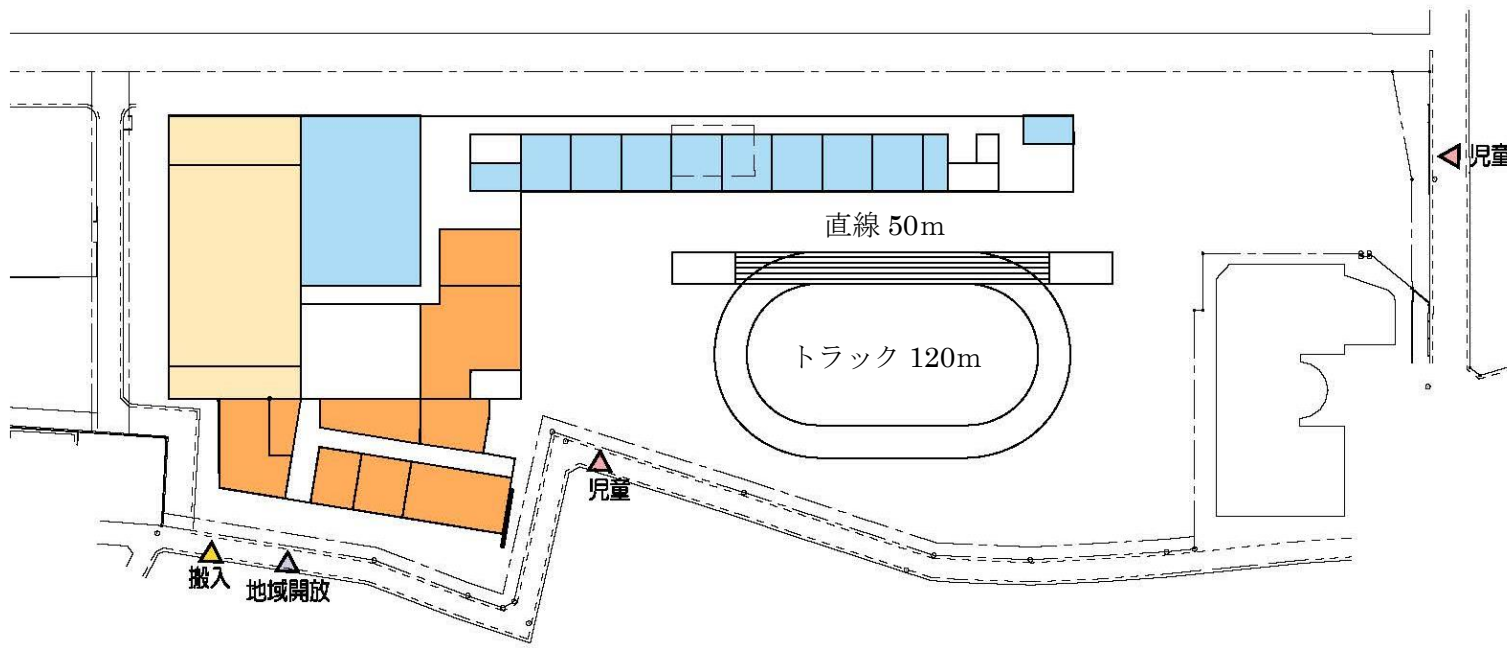
- 普通教室
- 開放エリア
- 廊下・共用部分
- 屋内運動場
- その他学校エリア

【特徴】

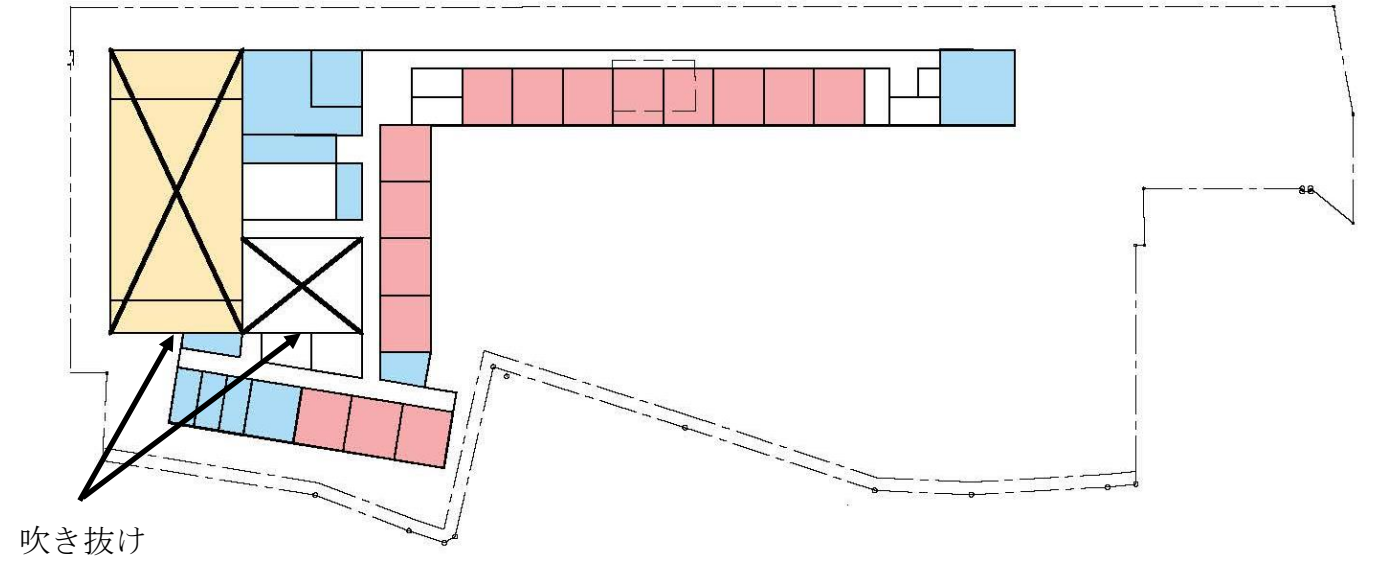
- 小学校として、児童・教職員が利用しやすい3階建ての校舎を整備することができる。
- 旧中野刑務所正門の見学スペース等を確保する必要がなくなるため、学校敷地を広く活用できる。
- 全ての普通教室を、採光を十分に確保できる南向き・東向きに配置することができるほか、校庭への視認性も確保できる。
- 職員室・校長室を、校庭への見渡しや防犯上の観点から適当である校庭に面した1階に配置することができる。
- 職員室や校長室、放送室の前面にトラックを確保できるなど、運動会等にも適した教育環境を整備することができる。

【平和の森小学校 新校舎整備にあたっての前提】

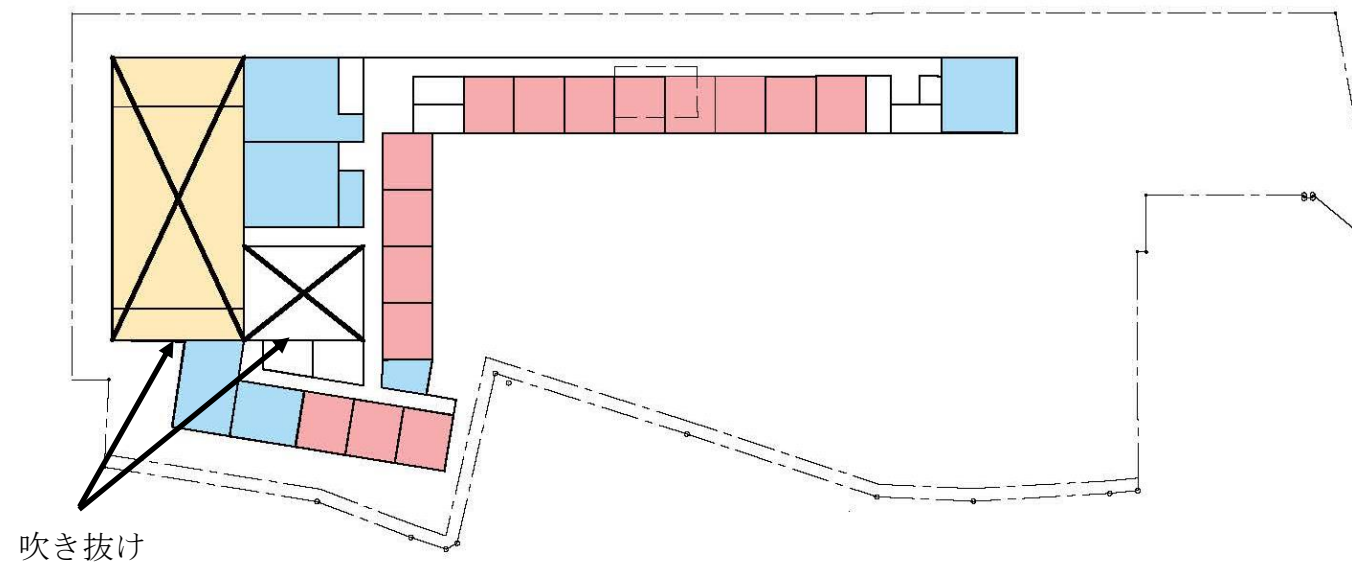
- 新校舎では800人程度の児童が通う、区内最大規模の小学校となるほか、新たに地域開放型学校図書館、キッズ・プラザが併設される。



配置図兼 1階平面図

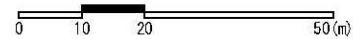
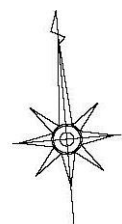


3階平面図



2階平面図

延床面積 合計：約 9,860 m²
校庭面積 : 約 4,500 m²



凡例

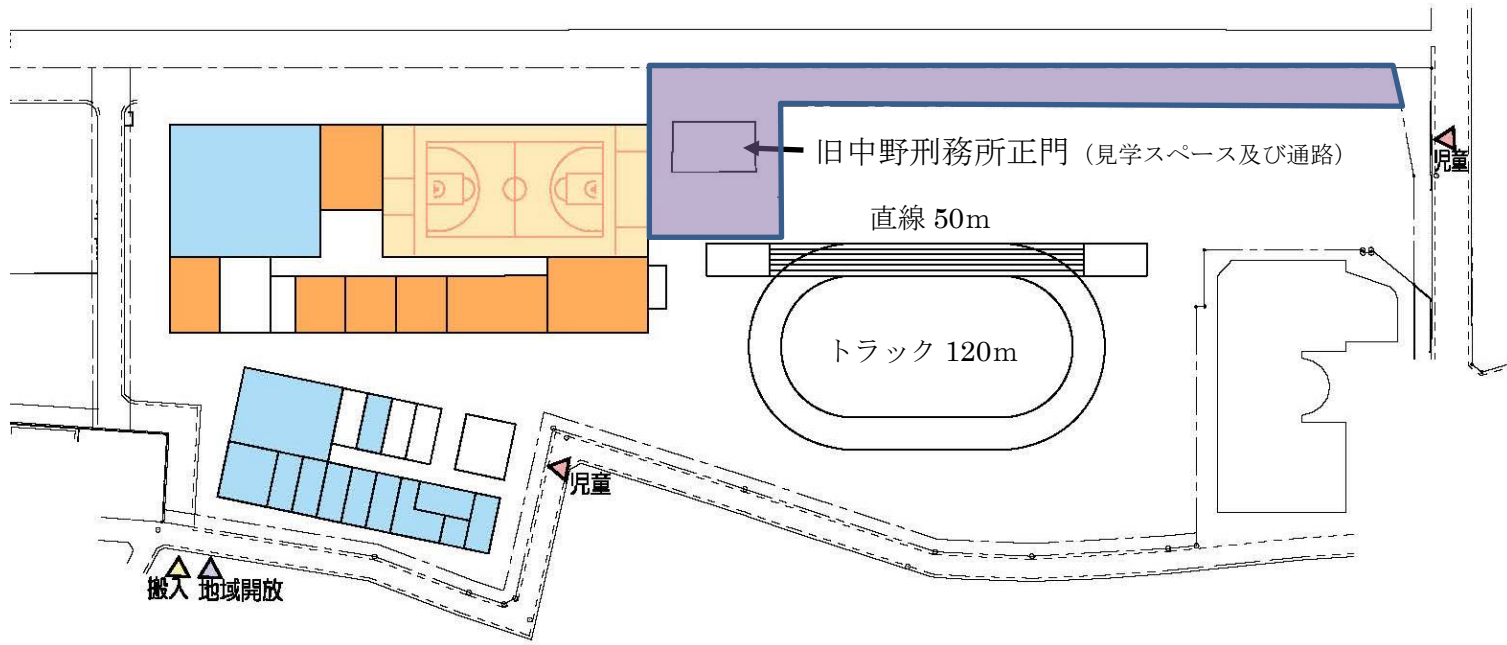
- 普通教室
- 開放エリア
- 廊下・共用部分
- 屋内運動場
- その他学校エリア

【特徴】

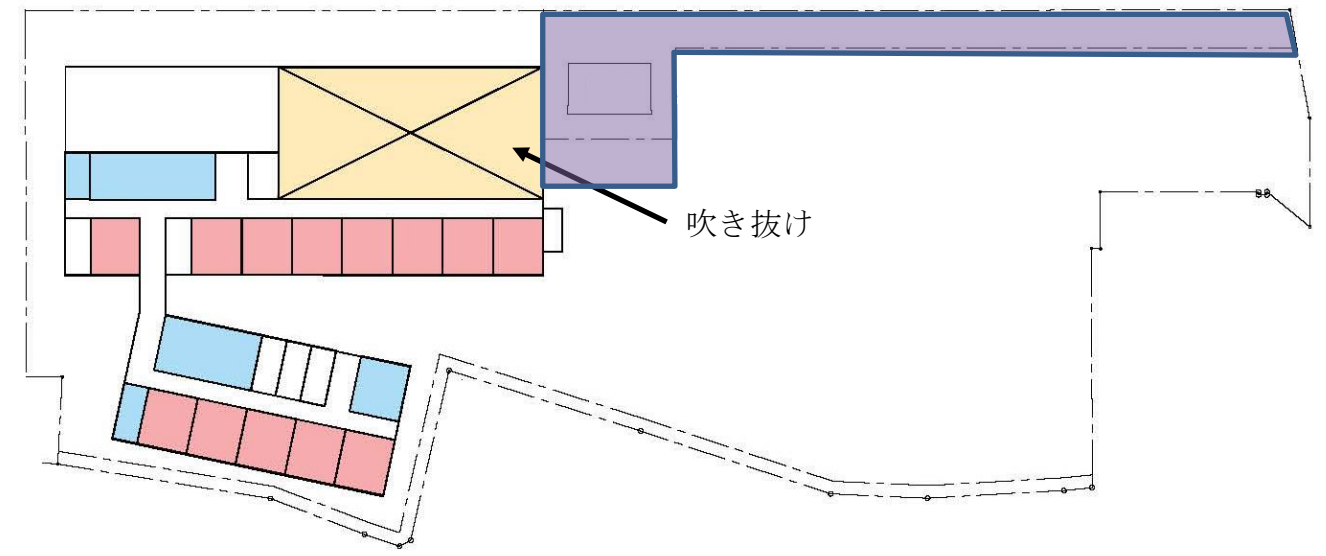
- 小学校として、児童・教職員が利用しやすい3階建ての校舎を整備することができる。
- 旧中野刑務所正門の見学スペース等を確保する必要があるため、学校敷地を広く活用できる。
- 全ての普通教室を、採光を十分に確保できる南向き・東向きに配置することができるが、校庭への視認性がない教室も混在するなど、教育環境として均質でない。
- 職員室・校長室を、校庭への見渡しや防犯上の観点から適当である校庭に面した1階に配置することができる。
- 職員室や校長室、放送室の前面にトラックを確保できるなど、運動会等にも適した教育環境を整備することができる。

【平和の森小学校 新校舎整備にあたっての前提】

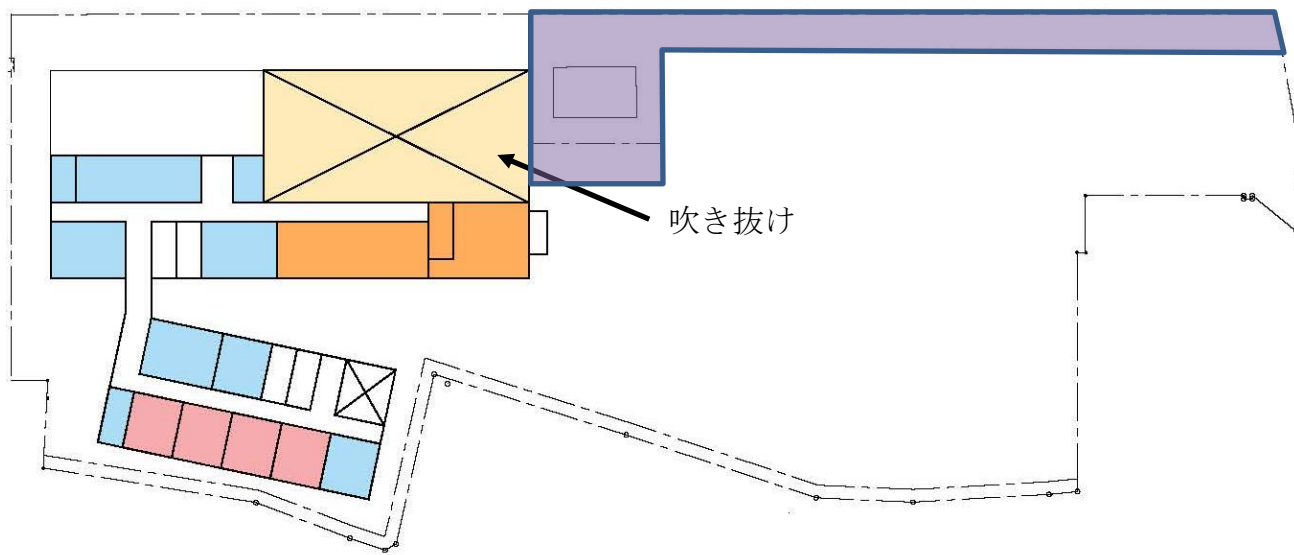
- 新校舎では800人程度の児童が通う、区内最大規模の小学校となるほか、新たに地域開放型学校図書館、キッズ・プラザが併設される。



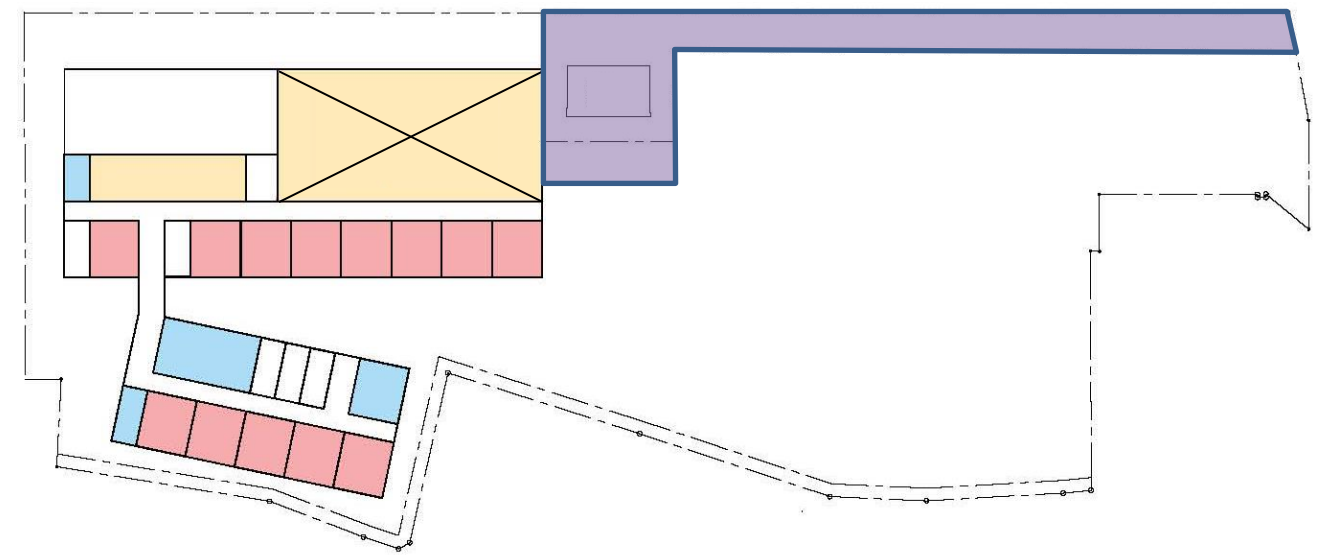
配置図兼1階平面図



3階平面図



2階平面図



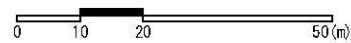
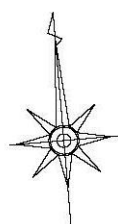
4階平面図

【平和の森小学校 新校舎整備にあたっての前提】

- 新校舎では800人程度の児童が通う、区内最大規模の小学校となるほか、新たに地域開放型学校図書館、キッズ・プラザが併設される。
- 旧中野刑務所正門を学校予定地内に保存する場合には、門の周辺に見学スペース等の確保を想定。

【特徴】

- 旧中野刑務所正門の見学スペース等を確保したうえでの校舎整備となり、校庭を確保するために4階建ての校舎となる。
- 旧中野刑務所正門の見学スペース等を確保するため、学校敷地が狭くなる。
- 全ての普通教室を南向きに配置することができるが、校庭への視認性がない教室も混在するなど、均質な教育環境として整備することが難しい。
- 職員室・校長室を、校庭への見渡しや防犯上の観点に配慮した場所に配置することが難しい。
- 職員室や校長室、放送室の前面に校庭トラックを配置することができないなど、校舎・校庭の一体的活用が難しい。

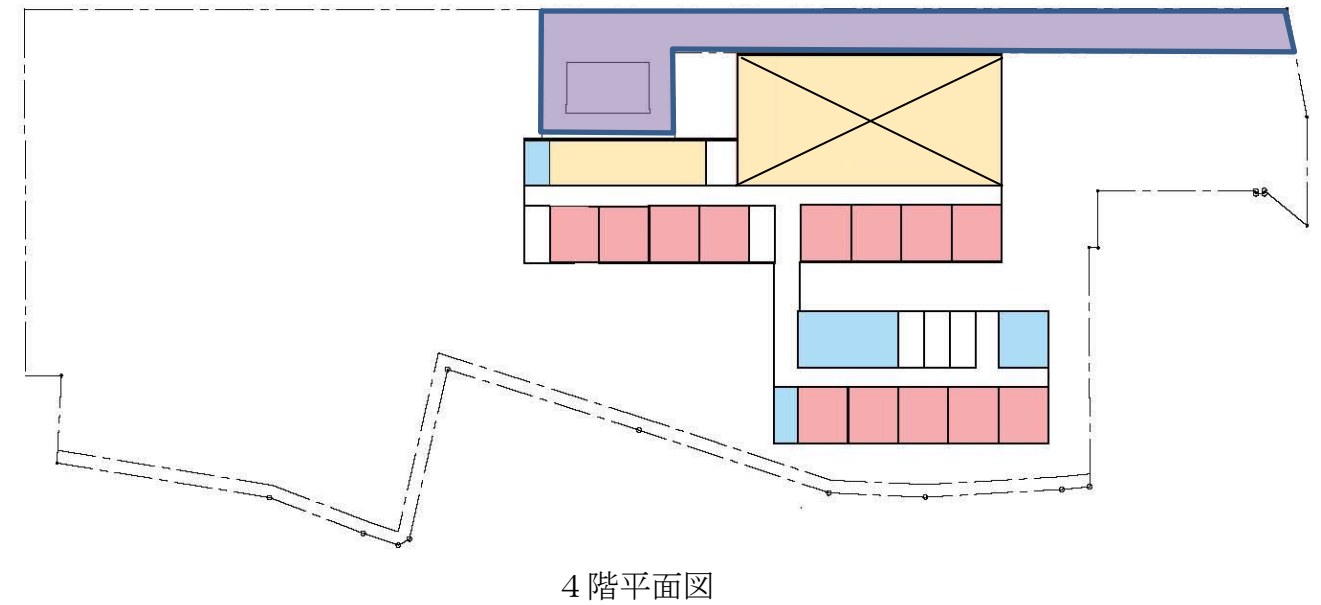
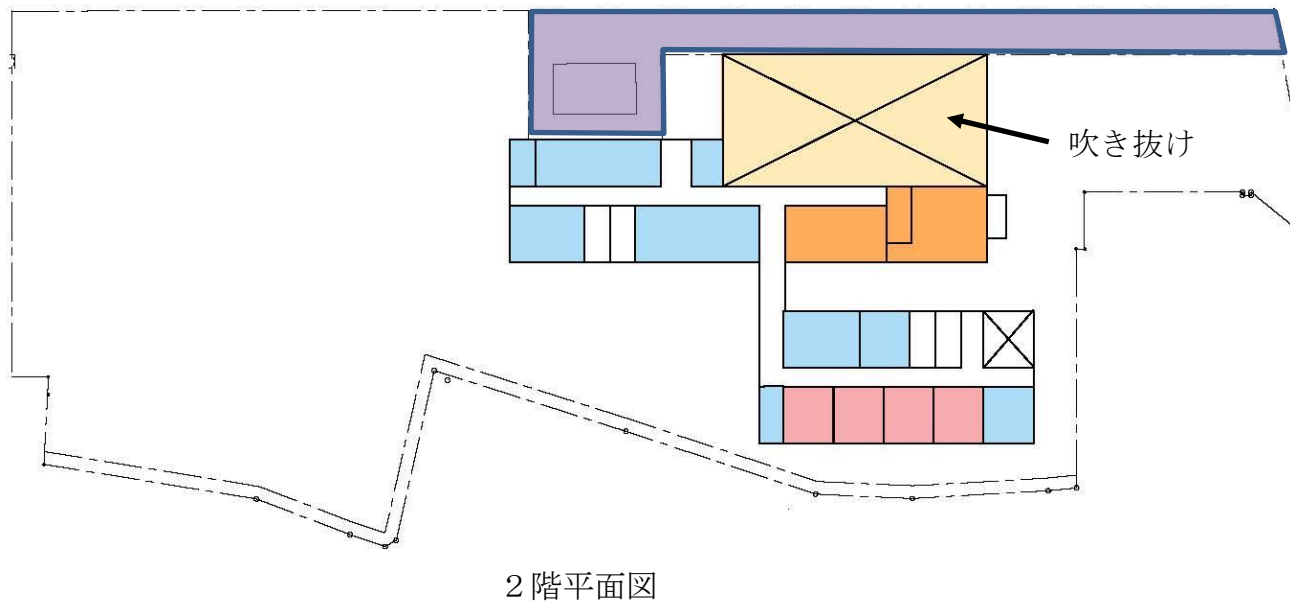
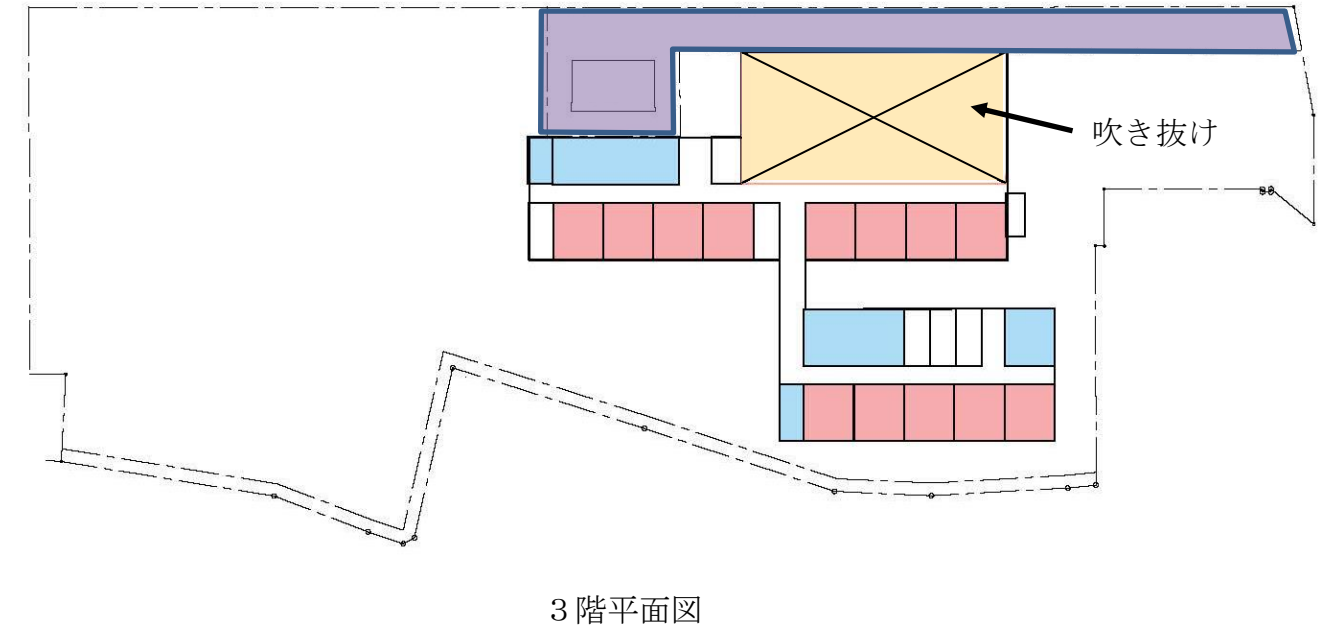
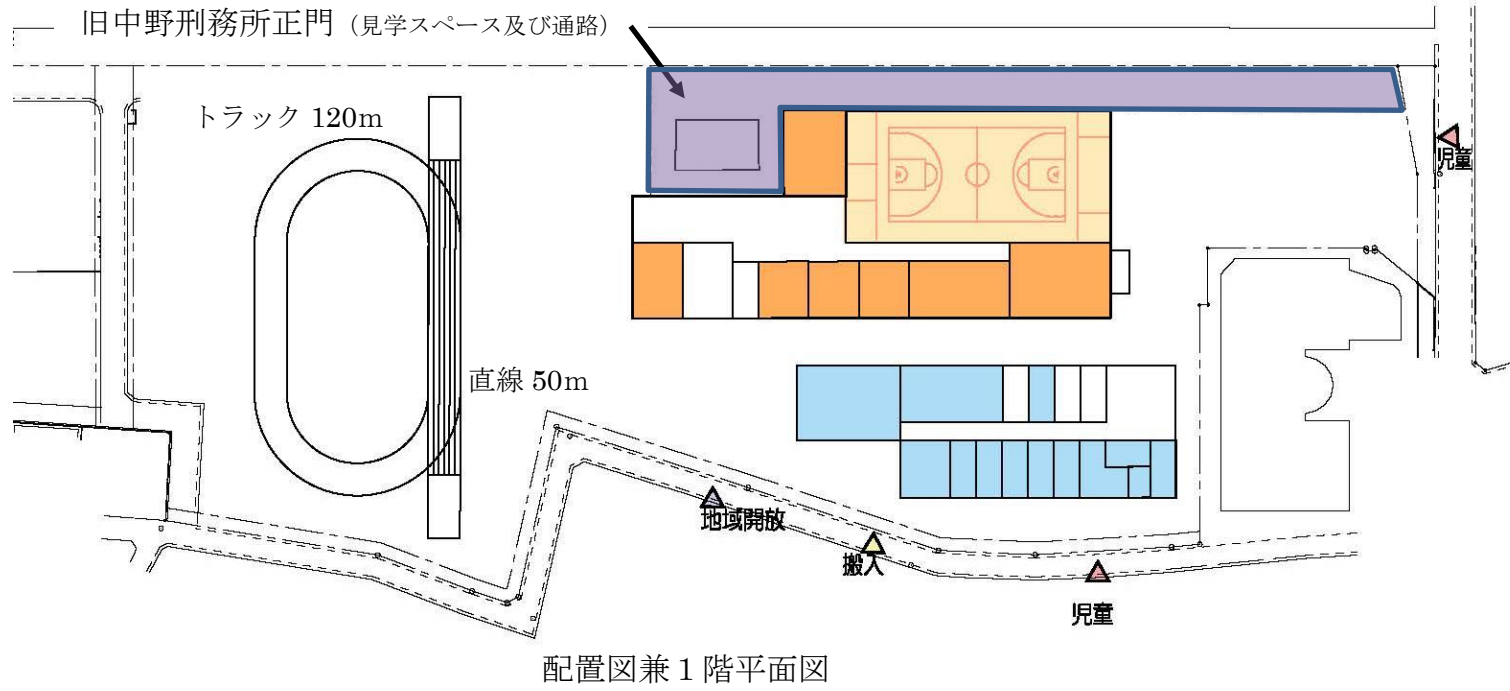


延床面積 合計：約 9,686 m²
校庭面積 : 約 4,400 m²

凡例

- 普通教室
- 開放エリア
- 廊下・共用部分
- 屋内運動場
- その他学校エリア

○旧中野刑務所正門を現地保存した場合の、平和の森小学校新校舎の配置イメージ②



【平和の森小学校 新校舎整備にあたっての前提】
 ○新校舎では800人程度の児童が通う、区内最大規模の小学校となるほか、新たに地域開放型学校図書館、キッズ・プラザが併設される。
 ○旧中野刑務所正門を学校予定地内に保存する場合には、門の周辺に見学スペース等の確保を想定。

【特徴】

- 旧中野刑務所正門の見学スペース等を確保したうえでの校舎整備となり、校庭を確保するために4階建ての校舎となる。
- 旧中野刑務所正門の見学スペース等を確保するため、学校敷地が狭くなる。
- 全ての普通教室を南向きに配置することができるが、校庭への視認性がない教室も混在するなど、均質な教育環境として整備することが難しい。
- 職員室・校長室を、校庭への見渡しや防犯上の観点に配慮した場所に配置することが難しい。
- 職員室や校長室、放送室の前面に校庭トラックを配置することができないなど、校舎・校庭の一体的活用が難しい。

